

## グラス・ルイス・アンド・カンパニー

## 隠れたリスクを知る

今日の機関投資家は従来とは異なった新しい世界で投資を行っています。財務諸表の複雑化や法規制の顕著化、資本市場の不安定化が進み、コーポレート・ガバナンスの重要性が増しています。

そのため、投資家が企業に係わるリスクを知り尽くすことは、かつてないほど重要になっています。このような複雑な状況の中で投資家が成功するには、客観的で徹底した分析が必要となりますが、従来のリサーチでは十分ではありません。

独立リサーチ会社グラス・ルイス・アンド・カンパニー(Glass Lewis & Co.)は2003年の設立以来、投資先である上場企業のビジネスリスク、法的リスク、経営リスク、財務会計上のリスクなどの情報特定に力を入れてきました。

当社のリサーチチームには数十年にわたる会計、法律、ウォール・ストリートでの経験を保持した者が揃い、機関投資家に対してより詳しい情報に基づいた投資や議決権行使が行えるように支援サービスを提供いたします。リサーチチームの責任者のリン・E・ターナー(Lynn E. Turner)は米証券取引委員会の元会計主任であり、企業会計や経営の分野において最も評価されている権威のひとりです。

当社が情報提供する機関投資家のお客様の運用資産は8兆ドルを超えており、これには、世界最大級の資産運用者や投資信託会社、年金基金やヘッジファンドなどが含まれています。機関投資家の皆さまの要望に応じて、当社は会計方針、財務諸表の透明性、コーポレート・ガバナンス、訴訟や規制の傾向、関連企業の取引状況、役員報酬、取締役会及び監査役会の独立性など、従来の投資リサーチからでは十分に得られない情報を提供しています。

グラス・ルイス・アンド・カンパニーは、機関投資家の皆さまのための会社です。当社は発行会社に対するコンサルティングサービスや、資本の運用は行いません。

当社は多様なリサーチ能力を備え、さまざまなサービスを提供しています。投資対象に関するリスク評価を通して機関投資家の皆さまの運用資産のリスク軽減に貢献します。

- **リスク警告(RISK ALERTS):** ザ・モニター (The Monitor) はインターネット上のツールであり、投資家の皆さまはこのツールを通じて企業を常に監視し、リスク兆候をいち早く察知することができます。企業の財務情報や他の開示情報に会社の業績悪化を示唆させるものがあつた場合、訴訟やインサイダー取引、競業取引、役員報酬についての取り決めなどにより株主利益を損ねたり、大きな問題を引き起こす可能性がある場合、アナリストやポートフォリオマネジャーに警告を発します。
- **徹底したリスク分析(IN-DEPTH RISK ANALYSIS):** イエローカード(Yellow Card)は機関投資家の皆さまのために、企業における隠れたビジネスリスク、法的リスク、経営リスク、財務諸表リスクの分析やアドバイスを提供します。当社は、リスクの存在が確認された企業についてのレポートを毎週発行しています。
- **議案分析と議決権行使 (PROXY RESEARCH AND VOTING):** 当社は国内外の株主総会の議案に関するリサーチや、議決権行使に関するアドバイスを手掛ける世界有数の独立機関です。投資家の皆さまのリスクを軽減し、利益向上の手助けを行うため、当社のプロキシペーパー(Proxy Paper)には、何千ものプロキシに関する客観的な分析や議決権行使についてのアドバイスが含まれています。プロキシペーパーは単品サービスとして、または調整や議決権行使、記録管理や報告書作成、NPX 書式作成、ウェブホスティングなど、議決権行使における全ての過程に対応した一連の包括ソリューションの一部としてもご利用になれます。
- **トレンドレポート(TREND REPORTS):** トレンドレポート(Trend Reports)は重大な会計問題や、規制の傾向についての分析・解説を提供します。
- **投資可能指数(INVESTABLE INDEX):** 取締役会説明責任度指数(The Board Accountability Index)はS&P 500 Indexの拡張版です。ハーバード大学法科大学院のルシアン・ベプチャク(Lucian Bebchuk)教授と共に開発したこのインデックスは、優れたコーポレート・ガバナンスを持つ会社を評価するものです。

詳細については、(米国)415-678-4110、またinfo@glasslewis.com までお問い合わせください。

## 優れた客観的分析とグローバル・プロキシの議決権行使提案について

プロキシによる議決権行使は、複雑になると同時にますます注目されるものとなりました。受託者は、利害衝突や議決権行使記録と方針の開示に関する新しい規制を理解すると同時に、より複雑な新しい問題について決断しなくてはなりません。

詳しい情報に基づき議決権を行使するためには従来の方法は十分ではありません。毎年、何千何百という大量のプロキシに対して正しい判断をするための十分な社内リソースを、ほとんどの機関は持っていません。立証されていないコーポレート・ガバナンス理論にただ追従するだけの従来のコンサルティングサービスは、複雑化していくプロキシに対し、投資リスク軽減を目的とした議決権行使に必要な金融・経済諸問題に対する優れたケース別の分析を提供しているとは言えません。

グラス・ルイス・アンド・カンパニー(Glass Lewis & Co.)は、この変化した状況に対応する徹底したプロキシリサーチと、議決権行使のアドバイスを提供します。

当社のプロキシペーパーは、50カ国以上の企業が発行する大量のプロキシの全議案に対して、個々の状況・背景を考慮し、客観性のある分析と議決権行使のアドバイスをを行うことにより、投資家のリスクを軽減し、利益を増やす機能を発揮しています。これらの専門的分析結果は、当社のカスタマイズ可能な研究結果配信プラットフォームから、あるいは議決権行使顧問サービスの一環として、ご利用になれます。

## グラス・ルイス・アンド・カンパニーの取り扱い対象

当社は、以下の対象を含む、50カ国以上にある企業と投資信託会社のプロキシに対して、詳細な分析を提供、議決権行使に関する提言をしています。

- Russel 3000
- S&P 500, S&P MidCap 400 and S&P SmallCap 600
- Wilshire 5000
- MSCI EAFE + Canada Index
- MSCI World Index
- S&P TSX Composite Index
- S&P TOPIX 150(Japan)
- S&P Japan Midcap 100

当社をご希望に応じて、先進諸国や新興資本市場における企業分析を含めた、投資全般に関するサービスを提供します。

当社リサーチチームは、会計、経営、財務、米国法・国際法、その他当社のリサーチに関連する分野において修士・博士号を持つ、米国内外のアナリストで構成されています。リン・E・ターナー(Lynn E. Turner)が責任者を務めるこのチームは、米国、カナダ、欧州、アジア、新興市場諸国のプロキシにおける、M&A、株式付与型報酬制度、取締役会の取り組み、能力給や監査役の問題などを判断するのに最適の人材を揃えております。以上のプロキシに関する諸問題に対しては特に、当社は独自の優れた視点と資質を備えていると確信しています。

- **M&A(MERGERS AND ACQUISITIONS):** 当社のリサーチチームには、数十億ドル規模の合併吸収を扱った経験を持つ元投資銀行員や弁護士が含まれています。毎年、数百に及ぶ合併吸収取引の分析において、取引が投資家の皆さまの経済的利益につながるかどうかを判断するために、当社は以下の4点を精査します。

- (1) 取引を提案する取締役会の独立性は高いか。
- (2) 取引を行うために選択したプロセスは、最良の契約に結びついたか。
- (3) 公正意見書を提出した財務顧問の独立性は高いか。  
この財務顧問は経済的、財政的に妥当な見解を述べたか。
- (4) 取引の価格は正当か。

- **株式付与型報酬制度(EQUITY-BASED COMPENSATION PLANS):** 当社は、株式付与型報酬制度を正当評価するため、学術研究に基づいた方法を採用しています。当社の評価方法は、株式付与型報酬制度が企業経費であり、また財務状況・営業成績・損益・人的資本マトリクスと比較し判断されるべきという原則に基づいています。この方法では、慎重に選択された同じような制度、および経済学文献が示すように、株主価値保護に必要な不可欠な絶対的限度によって、株式付与型報酬制度を比較研究します。

- **取締役会 (BOARDS OF DIRECTORS):** 取締役の選任に関する提案にあたって、当社のリサーチチームは取締役会の行為を精査し、株主価値(株主の利益)を保護し向上させる行為を取締役が実行したか確認します。また、各取締役の独立性と経験についても検証します。リサーチチームのメンバーのうち2人は上場企業の取締役であり、他の多くのメンバーは企業の役員、あるいは取締役会の相談役を務めた経験を持っています。

- **能力給(PAY FOR PERFORMANCE)**： 当社は、米国全企業における報酬額上位5人の役員報酬を評価する当社オリジナルの能力給モデルを使用し、役員の実績に基づき報酬の正当性を判断します。この分析に基づいて、議案として挙げられる報酬の問題に対し提言すると共に、報酬委員会の業績を評価します。
- **独立監査人(AUDITOR ISSUES)**： 確実な投資判断のためには、正確な企業財務諸表が必要です。当社リサーチ部門を率いるリン・F・ターナーは、米国証券取引委員会の元会計主任であり、現在は企業会計監視機関・常設顧問委員会のメンバーです。当社のリサーチスタッフには、ターナーの他にも大手会計事務所での職務経験をもつ会計士が12人以上含まれています。当社は財務諸表の透明性と、その企業が過去に財務諸表を訂正したことがあるかを精査します。当社は以上の要因を考慮して、監査委員会メンバーに助言し、独立監査人の承認に関して提言します。

グラス・ルイス・アンド・カンパニーは、機関投資家の皆さまのための会社です。当社は発行会社に対するコンサルティングサービスを行いません。

当社のエキスパートによる独立性の高い提案によって、受託者は自信を持って議決権を行使することができます。

#### グラス・ルイス・アンド・カンパニー独自のプロキシ分析

- 当社のリサーチは、中長期的に株主価値を向上させ、リスクを軽減するという観点から、機関投資家の議決権行使を補助するという役割を果たしています。このリサーチにおいて、その他の利害は考慮に入りません。
- 当社は、ケース・バイ・ケースの対応を常に重視しています。コーポレート・ガバナンスに関連する複雑な事項に関して、公平かつ合理的な判断を下すには、個々の状況・背景の把握が極めて重要だからです。当社は、企業のプロキシに対して“あらゆるケースに当てはまる解決法”を採用するのではなく、専門の学位を持つ有能なアナリストを揃えて個別の評価を行っています。
- 当社のリサーチスタッフの大半は、会計、ビジネス、法律、そして当社が行うリサーチに関係する分野の修士号を取得しています。さらに、グローバル・リサーチアナリストは、担当地域における法律とコーポレート・ガバナンスに関する専門知識を備えています。
- 当社はグローバルな機関投資家の皆さまのための会社です。当社は独立性を保つため、企業、CEO、取締役に対するコンサルティングサービスを行いません。したがって、当社のリサーチは公平なものです。

#### 企業概要

グラス・ルイス・アンド・カンパニーは、総額8兆ドルもの資金を運用する機関に、投資のためのリサーチとプロキシに関するアドバイスを提供する、業界大手の企業です。当社は、世界中の企業7千社以上のビジネスリスク、法的リスク、経営リスク、財務諸表のリスクを特定し、機関投資家がさらに詳しい情報に基づいた投資や議決権行使ができるよう、情報を提供いたします。

ローレンス・M・ハウエル

取締役会長

1996年1月以来、サンフランシスコを拠点に投資銀行の顧問を行う Howell Capital でマネージング・パートナーを担う。1993年1月から1995年12月まで、Morgan Stanley & Co. サンフランシスコ事務所のマネージング・ディレクターと取締役顧問を勤める。1970年から1993年1月まで Goldman, Sachs & Co. のニューヨークとサンフランシスコ事務所で上級管理職を勤める。それ以前はアメリカ海兵隊で軍務に就き、1974年に大尉として退役。同氏はテキサス州立大学オースティン校で経営学士号、南部メソジスト大学では経営学修士号を取得。

グレゴリー・P・タクシン

最高経営責任者

グラス・ルイスを共同設立する前は、サンフランシスコの Banc of America Securities のマネージング・ディレクターとして勤務。またサンフランシスコに拠点を置く最新技術を取り入れた投資銀行 Epoch Partners の取締役を務め、2001年に売却されるまで同社の経営委員会の役員を担った。Goldman, Sachs & Co. の投資銀行部の統括責任者、また、ニューヨークの法律事務所では Wachtell, Lipton, Rosen & Katz 所属の弁護士としての経験を積んでいる。ハーバード大学法学部を準首席で、カリフォルニア州立バークレー校を首席で卒業。

ケビン・J・キャメロン

社長

グラス・ルイスを共同設立する以前、テクノロジーベンチャー企業の Moxi Digital の相談役であり、それ以前は上場会社で、ブロードバンド・テレコミュニケーションの NorthPoint Communications の相談役を担う。同氏はワシントン D.C. の Kellog, Huber, Hansen, Todd & Evans 会社法律事務所を弁護士を担当、米国コロンビア特別区巡回控訴裁判所のジェイムズ・L・バックレーの法務書記として勤務した経験を持つ。シカゴ大学の『Law Review』誌の編集を担当、同大学から法学位取得、卒業。また、マックギル大学経済学部よりアレン・オリバー金メダルを受賞し卒業。

リン・E・ターナー

公認会計士、リサーチ部マネージング・ディレクター

現在 Sun Microsystems の取締役会役員を勤める。1998年7月から2001年8月まで米国証券取引委員会の元会計主任、米証券取引委員会会長と米国市場の上場会社財務報告、情報開示委員会、また他のコーポレート・ガバナンスに関連した委員会の主任顧問を担当。最近までコロラド州大学経営学部会計学科教授として勤務、またクオリティー財務報告センターの監督も兼任。それ以前には、国際半導体製造会社 Symbios Inc. の最高財務責任者兼副社長として勤務。Coopers & Lybrand (現在の PricewaterhouseCoopers) の元パートナーであり、同社の米証券取引委員会調査員も務めた。米証券取引委員会会長より優秀賞を二度受賞し、経営学名誉博士号を二つ持つ。ネブラスカ大会計学修士号と、コロラド州大学経営学修士号取得。